

第3学年だよ

杉並区立和田中学校
第3学年 学年通信
第4号 2020.5.1
文責 阿部 秀行

家庭学習と学習環境

みなさんはなぜ学習をするのか考えたことはありますか。学校の休業期間が長くなっていますが、こうした状況だからこそ、皆さん一人一人が学習と向き合い自己成長につなげて欲しいと思います。

学習を重ねると、「なぜこうなるのだろう」といった疑問が出てくるでしょう。その「なぜ」を突き詰めていくと、その先に「気づき」が見えてきます。その「なぜ」を解決して乗り越えていくことが、必ず皆さんの成長につながります。

今回は家庭学習で皆さんに意識して欲しいことをお伝えします。

なぜ勉強をするの？

- 勉強をすることで、学習した内容が理解でき、学習が楽しくなります。
- 勉強をすることで、自己成長ができ、将来の可能性が広がります。
- 勉強をすることで、学習に関わらず、学ぶ姿勢や学ぶ方法が身につきます。

他にもあります。
それぞれがみつけてください。

家庭学習を成功させるポイント

アウトプットが大切

これまで学習をしてきて、「わかったつもり」が、実際は知識が定着せずに納得のいく成果が出なかった経験はありませんか。学習の定着は、**アウトプットの量**に比例します。教科書をただ黙読するのがインプット、「問題集を解く・試験を受ける」、「書いて覚える・声に出して覚える」などがアウトプットです。「書く」「話す」といった**運動神経と筋肉を使って記憶すると、「運動性記憶」になり、一度覚えたことは忘れにくくなります。**みなさんも、漢字や英単語を覚える時に、経験したことがあるのではないのでしょうか。頭だけでなく話したり書いたり五感を使って、問題集を解くなどして、学習した内容を定着させましょう。



効果的な学習

ここで1つ質問です。みなさんが学習をするときの時間配分は、「教科書を読む時間」と「問題を解く時間」のどちらが長いでしょうか。ある研究では、効果的な学習には、インプット時間（教科書を読む）の2倍のアウトプット時間（問題を解く、練習する）が必要とされています。教科書や資料集をじっくり読むより、問題を解いたり、ノートに練習する時間を意識して学習しましょう。

また、問題を解いたり、試験を受けると必ず結果が出ます。その結果が自分にとって良い結果でも、悪い結果でもやりっぱなしでは成長につながりません。「なぜうまくいったのか」、「なぜうまくいかなかったのか」、その理由を考え、「次に何をするか」を考えましょう。具体的には、良い結果の場合は、応用問題や難問に挑戦する。悪い結果の場合には、間違えた原因を探る、教科書を見直す、基本の確認やノートに要点をまとめるなど、工夫できることを考え実行しましょう。

学習環境を整えよう

① 学習する場所を決める

・落ち着いて学習できる場所を決め、テレビや音楽を消して、静かな環境で学習しよう。

② 周りの環境を整える

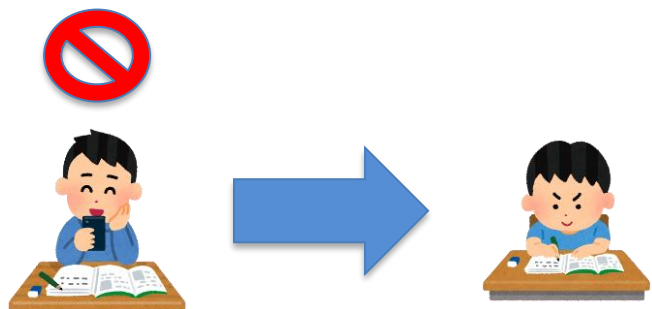
・机の上や周りには必要のないもの（マンガ、ゲーム機、スマホ、アイドルの写真等）を置かないようにしましょう。

③ 時間を決める

・「終わるまでやる」をやめて、「〇〇分で終わらせる！」と決めてから実行しよう。開始と終了の時間を意識したり、ストップウォッチで時間を測ったりことで、時間の感覚に敏感になり、効率よく勉強できるようになります。

④ ながら勉強はきっぱりやめる

・勉強の時は勉強、遊びは遊び、けじめが肝心！誘惑のもとは見えない所にしまい、集中して勉強し、自由時間を楽しもう。



確認のお願い

現在、取り組んでいる課題と4月に配布した作文等については、提出できる状態になっていますか。提出の直前に慌てることがないように、準備をしておきましょう。